



## 基本方針Ⅲ：産業経済活動のなかで生物多様性に取り組みます。

### 施策の方向性 10. 観光業における取組の拡大

#### 施策⑩：生物多様性を基盤とした観光魅力の発掘

##### ◆趣旨

藤沢市の観光は、生物多様性を基盤とする生態系サービスに支えられていることへの認識を深め、生物多様性を守りつつ、その魅力を発見する多様な観光のあり方を検討します。

##### ◆取組内容（令和3年度～令和5年度）

- 藤沢市観光振興計画のプログラム（〈 〉内）と連携した取組を推進します。
  - 〈①－3 多様な主体による新たな観光魅力づくり－歴史を活用した事業の推進など〉に関する取組例
    - ・ 江の島が有する歴史性、自然の固有性など、生態系サービスに依拠した多様な魅力を発見できる観光のあり方を考えます。
  - 〈③－1 地域産品振興、地産多消などの促進－地域資源の活用の促進など〉に関する取組例
    - ・ 江の島以外の藤沢市域においても、農産物やさまざまな自然資源を利用した新たな観光のあり方を考えます。
  - 〈⑤－1 外国人観光客の受入体制整備－外国人観光客おもてなしプログラムなど〉に関する取組例
    - ・ 海外からの観光客に、藤沢市の自然や環境に関する魅力を伝える方策を検討します。

##### ◆各主体に期待される役割と市の役割

関連する主体	役割
市民	多様な魅力の認識
事業者	多様な魅力の発掘と発信
大学などの研究機関	魅力発見に際しての助言、発信への協力
市民活動団体	多様な魅力の発見、発信への協力
藤沢市	多様な魅力の発見方策の検討

- ◆「藤沢市生物多様性地域戦略」の取組（独自事業）と既存計画関連の取組（関連事業）との連携を緊密に行うことで、「生物多様性への全ての影響（危機）」の回避を目指します。 ※2頁参照

◆既存計画関連の取組（関連事業）

<p>(1) 多様な主体による「江の島」の新たな観光魅力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 江の島における自然や科学史等、自然資源の魅力を活用した観光プログラムを多様な主体とともに検討します。必要に応じて、みどり保全課がこの取組を支援します。 (関連事業課：観光シティプロモーション課) (関連事業課：みどり保全課)</li> </ul>
<p>(2) 地域資源の活用による観光の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 南部の漁港や北部の農園・果樹園等、地域資源を活用した体験型観光商品の開発を進めます。また、六会地区の大型直売所を北部の観光拠点として地産地消の推進と消費観光の促進を図ります。</li> <li>● 市内には地域住民が育てている自然や伝統的なお祭りやイベント等の観光資源が存在しており、地域との連携により新たな観光資源の発掘を行うとともに誘客のための観光商品化に向けて観光事業者との連携を図ります。</li> <li>● 北部地域における観光や「藤沢産」農水産物の販売促進等、南部と北部を連携させた観光プログラムを検討します。 (関連事業課：観光シティプロモーション課)</li> </ul>
<p>(3) 外国人等観光客への藤沢の自然の魅力の発信と適切な利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 藤沢市を訪れる観光客の誰もが安全・安心に観光できるよう環境整備の充実と観光案内所における情報発信やマナーの啓発を検討します。</li> <li>● 海外等からの観光客向けの自然や環境に関するガイドの作成を検討し、自然環境を活かしたイベント等で活用します。</li> <li>● 観光地における自然資源の持続可能な利用を図るため、ルールづくり等を検討します。 (関連事業課：観光シティプロモーション課) (関連事業課：みどり保全課)</li> </ul>

◇ 自然資源を利用した観光プログラムの検討 ◇ 「江の島」を例に



● 成り立ち－地史

プレート運動、気候変動により約10万年周期で起こる「海進」と「海退」、富士・箱根火山の活動、さらには古相模川の流路の移動などにより現在の地形が形成されている。



● 生きもの

江の島には、島の上部にはタブノキ、スタジイ等の照葉樹の森が広がっている他、岸壁には草地が、岩礫帯にはヒジキ等の海藻が自生している。



● 歴史文化

江の島には縄文時代の始めから人間が暮らし始め、鎌倉時代以降、弁財天と五頭龍信仰に守られてきた。また、近代日本における自然科学の発祥の地の一つでもある。

「江の島」が有する歴史性、自然の固有性など、

※(写真中央)イノヒョドリ／「藤沢の自然観察ガイド(14)」より引用

生態系サービスに依拠した多様な魅力を発見できる観光のあり方を考えます。